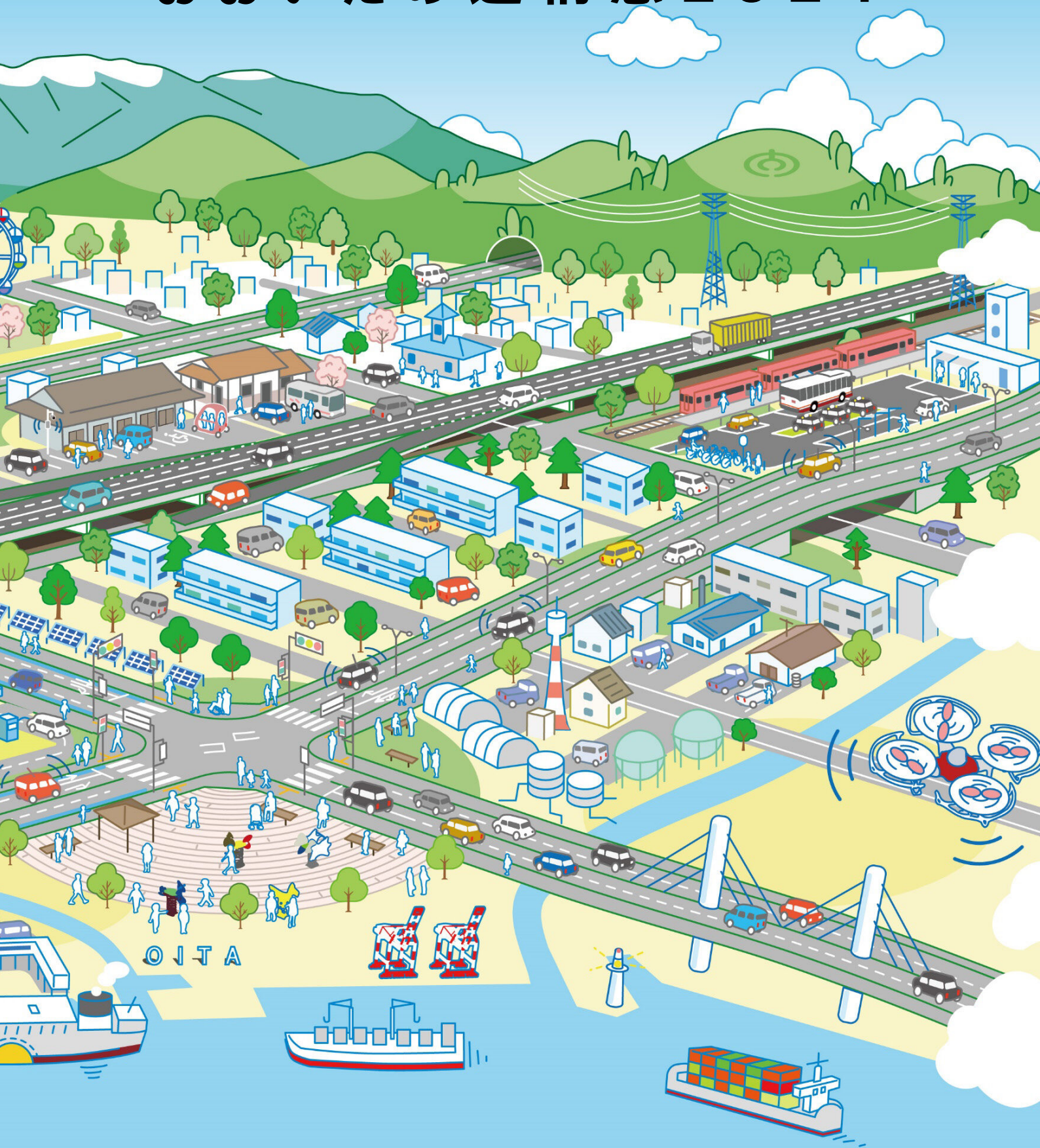


おおいたの道構想2024



令和7年3月
大分県土木建築部
道路建設課・道路保全課

「おおいたの道構想2024」の概要

計画策定の趣旨

- 大分県では、県の目指すべき道路整備のあり方や目標、進め方を示すものとして、平成28年3月に大分県長期道路整備計画「おおいたの道構想2015」を策定し、その後、社会情勢や道路行政を取り巻く環境変化を踏まえ、令和3年3月に計画を改訂し「おおいたの道構想2015～改訂～」を公表しました。
- 近年は、九州各地における半導体関連投資の活発化などによる企業立地や産業集積が進むとともに、物流の2024年問題に直面するなど、産業や物流を支える広域道路ネットワークの整備の重要性がさらに高まっています。また、土木や交通分野などにおける人手不足が問題となる中、AIやドローン、自動運転など様々な先端技術の開発・普及が進んでおり、人々の生活や経済活動のあり方が抜本的に変化しています。さらに、道路における賑わい空間の創出や自転車活用の推進といった道路に求められるニーズの多様化、脱炭素化によるグリーン社会の実現に向けた取組など、道路を取り巻く情勢は変化しています。
- このような状況の中、現計画が目標年度を迎えたことに加え、上位計画である大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」及び大分県土木建築部長期計画「おおいた土木未来プラン2024」の策定を踏まえ、新たな長期道路整備計画を策定するものです。

計画策定の位置付け

- 本計画は、「安心・元気・未来創造ビジョン2024」及び「おおいた土木未来プラン2024」を補完し、今後の道路整備の方針を県民に示すとともに、道路事業を執行する上での指針となるものです。

計画の対象期間

- 本計画の対象期間は、令和7年度を初年度とし、「安心・元気・未来創造ビジョン2024」及び「おおいた土木未来プラン2024」の目標年度と同じ令和15年度までの9か年とします。

大分県長期総合計画 安心・元気・未来創造ビジョン2024

まち・ひと・しごと創生大分県総合戦略

大分県地域強靱化計画

大分県土木建築部長期計画 おおいた土木未来プラン2024

おおいたの道構想2024

都市計画区域マスタープラン

大分県公共施設等総合管理指針

大分都市圏総合都市交通計画

河川整備基本方針・河川整備計画

大分県生活排水処理施設整備構想

港湾計画

大分県住生活基本計画

大分県土砂災害防止法運用方針

等

大分県の道路整備の状況

- 「大分県新広域道路交通計画」において、大分自動車道、東九州自動車道、中九州横断道路、中津日田道路、大分空港道路、大分中央幹線道路の6路線が高規格道路として位置づけられており、このうち県内では、東九州自動車道、中九州横断道路、中津日田道路、大分中央幹線道路の4路線において事業を実施しています。近年では、中九州横断道路の朝地IC～竹田IC間、中津日田道路の耶馬溪山移IC～下郷交差点間や田口IC～青の洞門・羅漢寺IC間などが開通しており、着実に整備が進められています。一方、県内の高規格道路には、未開通区間や暫定2車線区間が多く残されています。
- 国道・県道の整備については、道路改良率が79.6%（令和4年3月31日現在）と九州中位の水準ですが、中山間地域や半島部などで未改良区間が多く残されているとともに、都市部においても主要渋滞箇所や歩道の未整備箇所などが多く残されています。
- 頻発化・激甚化する豪雨災害や、令和6年1月1日に発生した能登半島地震などを教訓とした南海トラフ地震への備えとしての防災・減災対策、道路施設の老朽化対策は喫緊の課題となっています。

道路整備の方向性

- 大分県では、社会情勢の変化や新たな潮流を踏まえた「安心・元気・未来創造」の3本の柱を基本として、県土づくりの基盤となる道路整備を推進します。

1. 生活の安全・安心を高める道路整備

- (1) 防災・減災対策
- (2) 交通安全対策
- (3) 老朽化対策
- (4) 適切・効率的な維持管理

- (1) 渋滞対策
- (2) 快適で多様なニーズに対応した道路空間の形成
- (3) ツーリズム支援
- (4) 持続可能な環境づくり

2. 元気で快適に暮らせる地域づくりを支える道路整備

- (1) 広域道路ネットワークの充実
- (2) 地域を支える道路ネットワークの充実
- (3) 高齢化集落対策

3. おおいたの未来創造に向けた道路整備

道路行政の進め方

- 1 県民の声に応える道づくり
- 2 計画的・効率的な事業の推進
- 3 道路・交通分野のDX

主要施策の実施方針

1. 生活の安全・安心を高める道路整備

(1) 防災・減災対策

- 近い将来発生が予想される南海トラフ地震や、昨今の頻発・激甚化する豪雨災害への対策として、緊急輸送道路や迂回路となる道路の整備、橋梁の耐震化、のり面对策、無電柱化など、災害に強い道路ネットワークの構築を推進します。



落橋防止装置の設置
(大分白杵線 高田橋:大分市)



落石防護網の設置
(小川穴井迫線:竹田市)

(2) 交通安全対策

- 警察などと連携し、事故危険箇所における事故発生状況に応じた対策を推進します。
- 通学路の合同点検結果などを踏まえ、歩道や自転車道の整備、地域の実情に合わせた交通安全施設の設置などの対策を実施します。
- ゾーン30に指定されたエリアの通学路のうち、車両の速度超過が確認されるなど潜在的な危険がある箇所に対して、ハンブやシケインなどを設置する「ゾーン30プラス」の整備に向けた取組を推進します。
- ラウンドアバウトについて、安全性や走行性の改善が見込める箇所への導入を検討します。



通学路における歩行空間の整備
(万田四日市線:中津市)



ゾーン30プラスの区域の表示
(別府市)



宇佐市安心院支所前ラウンドアバウト
(国道500号:宇佐市)

(3) 老朽化対策

- 長寿命化計画に基づき、橋梁、トンネルなど道路施設の定期点検を実施し、健全性が著しく低下する前の適切な時期に適切な対策を実施する予防保全型の維持管理に取り組みます。
- 定期点検において、ドローンやAIなどの新技術を積極的に活用します。
- 市町村が管理する道路施設と合わせた点検業務の一括発注を行うなど、市町村のインフラ維持管理業務の支援に取り組みます。



レーザーと高解像カメラを搭載した専用車両
による走行型のトンネル点検

(4) 適切・効率的な維持管理

- 道路パトロールを実施し、事故の防止や災害への早期対応などに努めます。また、防草対策や照明のLED化など維持管理の効率化を図りながら、適切な道路の維持管理に努めます。



防草処理 (中判田下郡線:大分市)

2. 元気で快適に暮らせる地域づくりを支える道路整備

(1) 渋滞対策

- 主要渋滞箇所における渋滞対策を中心に、快適な交通環境の形成に向けた取組を推進します。
- (都)庄の原佐野線や国道197号鶴崎拡幅などの整備を推進します。
- 大分スポーツ公園周辺へのアクセス改善などの効果が期待される東九州自動車道大分松岡PAのスマートIC化について検討を進めます。
- 関係機関と連携しながら、時差出勤や公共交通の利用を促し交通交雑の緩和を図る「TDM施策」などの取組や、信号現示や車線運用の変更の検討を行います。



完成予想図
(都)庄の原佐野線 下郡工区、下郡・明野工区

(2) 快適で多様なニーズに対応した道路空間の形成

- 各都市計画区域マスタープランなどに基つき、都市計画道路の整備を推進します。
- 自転車道など自転車走行空間の整備を推進します。
- 防災、安全かつ円滑な交通の確保、景観形成・観光振興などの観点から、無電柱化を推進します。
- 道路空間を活用したまちなかの賑わいや憩いの場の創出などに取り組みます。
- 道路のバリアフリー・ユニバーサルデザインを進めます。



歩道整備などが必要な都市計画道路
(都)南立石亀川線:別府市

歩道・自転車道の整備状況
(国道442号宗方拡幅:大分市)



温泉地鉄輪の無電柱化イメージ図
(国道500号:別府市)



賑わいのある道路空間
(国道197号昭和通り交差点:大分市)



視覚障害者用誘導標示の設置
(日田玖珠線:日田市)

(3) ツーリズム支援

- 県内外からの観光客の来訪を促進するため、広域道路ネットワークと主要な観光地を結ぶアクセス道路や周遊ルートの整備を推進します。
- 区画線の更新や路面補修、防草対策などを適切に行い、安全で快適に移動出来る道路環境の創出・維持に努めます。また、サイクリングレース(ツール・ド・九州)への対応など、歩行者や自転車が通行しやすい道路空間の創出を進めます。



車両のすれ違いが困難な立羽田の景へのアクセスルート(玖珠山国線:玖珠町)

(4) 持続可能な環境づくり

- カーボンニュートラルの実現に向け、道路ネットワークの整備や渋滞対策などによる道路交通の円滑化、自転車の利用推進のための自転車通行空間の整備、電気自動車などの普及に向けた道路環境整備、道路照明のLED化など、CO2排出量の削減に寄与する取組を推進します。



道の駅におけるEV充電機器
(道の駅たのうらら:大分市)

3. おおいたの未来創造に向けた道路整備

(1) 広域道路ネットワークの充実

- 人や物の流れの活性化や災害に強い道路ネットワークの機能確保などのため、高規格道路の早期完成に向けた整備を推進します。
- 東九州自動車道における暫定2車線区間の4車線化に向け、事業実施中の区間の早期完成と、残る優先整備区間の早期事業化への取組を推進します。
- 中九州横断道路において、竹田阿蘇道路の整備促進を図るとともに、大分～犬飼間の早期事業化・工事着手に向けた取組を推進します。
- 中津日田道路において、三光本耶馬溪道路、日田山国道路、耶馬溪山国道路の早期完成に向けて整備を推進します。
- 大分空港道路の暫定2車線区間の4車線化については、必要性などの検討を進めます。
- 豊後伊予連絡道路については、県民の理解促進や関係県などとの連携による機運醸成などに取り組むとともに、調査検討を進めます。その他の構想路線についても、必要性などの検討を進めます。



大分県の広域道路ネットワーク図



整備が進む竹田阿蘇道路
(竹田IC付近)



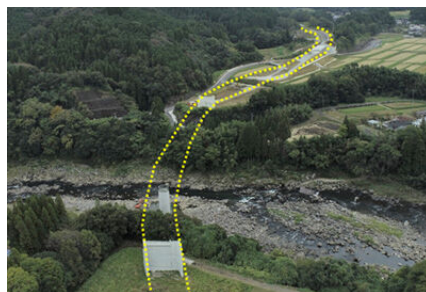
整備が進む三光本耶馬溪道路
(青の洞門・羅漢寺IC～本耶馬溪IC間)

(2) 地域を支える道路ネットワークの充実

- 地域の骨格となるネットワークを形成する幹線道路については、渋滞の発生や歩道の未整備など多くの課題を有する箇所から優先的に整備を推進します。
- インターチェンジや港湾などの交通拠点へのアクセス強化に寄与する道路整備を推進します。
- その他の地域ネットワークを形成する道路について着実に改善を図ります。2車線整備に加え、1.5車線の道路整備や身近な道改善事業も活用し、効率的なサービス水準の向上を図ります。



幹線道路における渋滞状況
(中津高田線：宇佐市)



ICアクセス道路
(三重新殿線：豊後大野市)



身近な道改善事業による歩行空間の確保
(国道212号：中津市)

(3) 高齢化集落対策

- 中山間地域や半島部などにおいて高齢化集落が増加する中、これらの集落が近隣の複数集落などと地域の機能を補い合いながら、全体として地域の機能を維持していく「ネットワーク・コミュニティ」の構築が進められています。このような取組を支援するため、集落と幹線道路を結ぶ道路などの整備を進めます。



半島部の未改良区間
(大泊浜徳浦線：白杵市)

道路行政の進め方

1. 県民の声に応える道づくり

(1) 地域住民等との協働

- 道路整備を進めるにあたっては、地域と協働で事業を進めていく参加型行政を推進します。
- 道の駅・道守大分会議・日本風景街道が連携した「三つの輪」による取組や、クリーンロード支援事業、おおいた灯りのサポーター事業など、地域と協働した取組や事業を推進します。

(2) 広報の強化

- 安全かつ円滑な道路交通の確保のため、道路に関する情報提供を適切に行います。
- 橋梁・トンネルなどのインフラを活用したイベントや現場見学会の開催、工事現場の広報・魅力発信のための取組を行います。



クリーンロード支援事業を活用した植樹帯の花植え(大分白杵線:大分市)



開通前トンネルでのトンネルキャンプ開催による道路の魅力発信(耶馬溪道路:中津市)

2. 計画的・効率的な事業の推進

(1) 「選択と集中」による事業計画

- 適切に選択と集中を進め、計画的に道路事業を推進します。道路事業を計画するにあたっては、コスト削減を意識しつつ適切な計画内容となるよう検討に努めます。

(2) 的確な事業評価

- 社会情勢の変化を踏まえつつ、公共事業の効率化及び重点化を図るとともに、事業実施過程における透明性の向上を図るため、公共事業評価を各段階で的確に行います。

(3) 各種事業間等の調整

- 地域の課題に対して国道・県道・市町村道が一体的に対応できるよう、国や市町村などと各種事業間の調整を行います。

(4) 旧道の市町村移管

- バイパスの整備などにより交通量が減少し、国道・県道としての役割を終えた旧道については、計画的かつ適切な移管に努めます。

(5) 道路の整備に関するプログラム、豊ちやく

- 「道路の整備に関するプログラム」や「豊の国ちやくちやくプロジェクト（豊ちやく）」など、道路整備に係る計画を策定・公表し、計画的な事業実施に努めます。

3. 道路・交通分野のDX

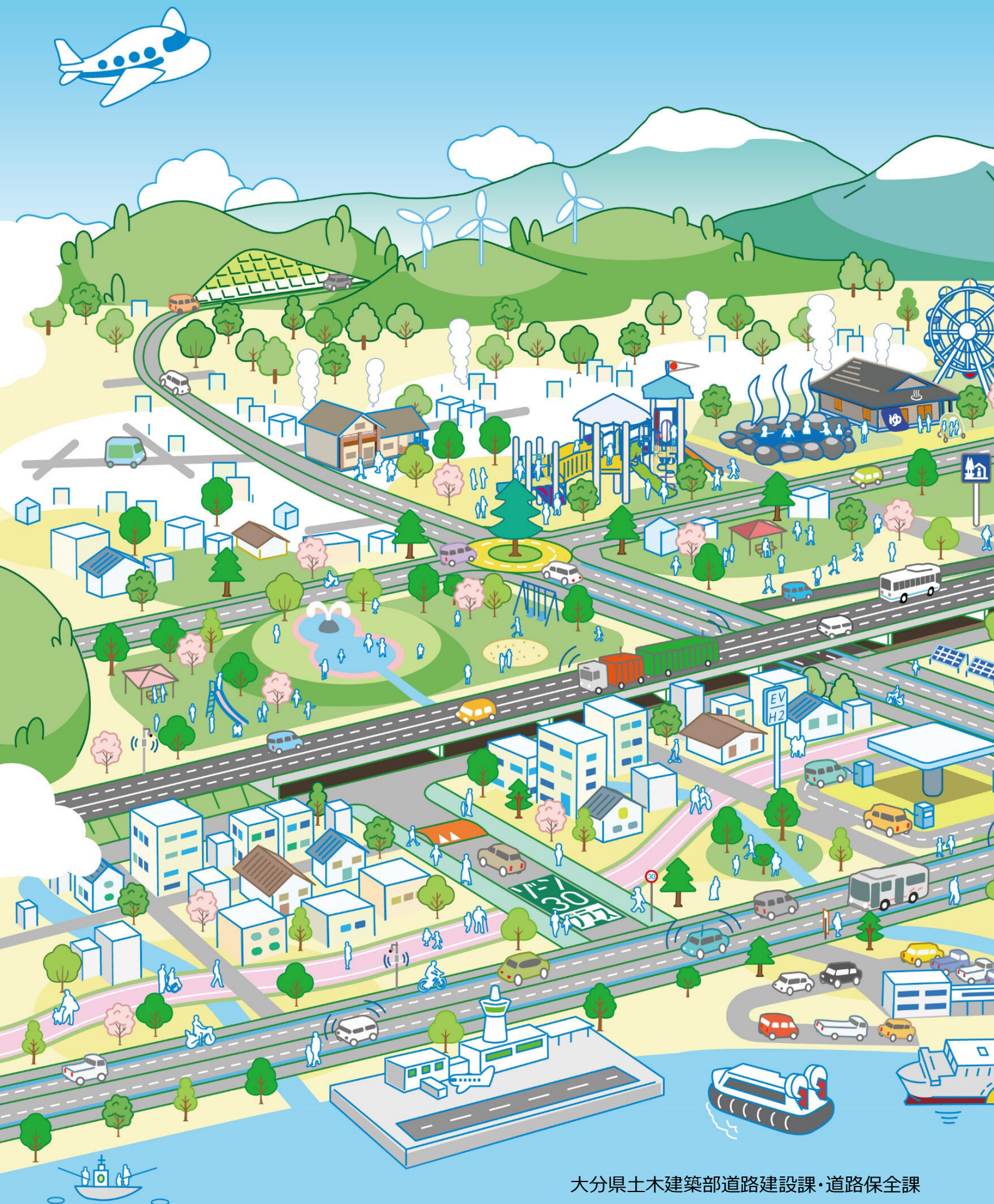
- AIやドローンなどの技術を活用し、調査・点検などの業務の効率化や高度化を図ります。
- 物流の効率化を図るため、国では新東名高速道路におけるレベル4自動運転トラックの実現に向けた実証実験を行っており、今後の動向を注視しながら、関係機関と連携して高規格道路などにおける自動運転車用レーンの導入に向けた自動運転の試行に取り組みます。また、県内で行われている地域公共交通の課題解決のための自動運転の取組への協力を行います。



AIカメラ解析による交通量調査



自動運転の取組(佐伯市)



大分県土木建築部道路建設課・道路保全課
〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
TEL : 097-506-4573
FAX : 097-506-1774
Email : a17140@pref.oita.lg.jp